

# 令和6年度環境調査報告書

(ダイオキシン類編)

奈 良 県

# 目 次

1. 目 的	.....	1
2. 測定方法	.....	1
3. 調査結果	.....	2
(1) 大気	.....	2
(2) 公共用水域（水質・底質）	.....	4
(3) 地下水	.....	6
(4) 土壌	.....	7

## 1. 目的

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条の規定に基づき、環境中の水質についてダイオキシン類の常時監視を実施した。

## 2. 測定方法

### (1) 大 気

「ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（令和 4 年 3 月 環境省 水・大気環境局総務課ダイオキシン対策室、大気環境課編）に準拠。

### (2) 公共用水域（水質）

JIS K0312 に準拠。

### (3) 公共用水域（底質）

「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（平成 21 年 3 月 環境省 水・大気環境局水環境課編）」に準拠。

### (4) 地下水

JIS K0312 に準拠。

### (5) 土 壌

「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（令和 4 年 3 月 環境省 水・大気環境局土壌環境課編）」に準拠。

### 3. 令和6年度の調査結果

#### (1) 大気

##### ○ 測定地点・測定回数

8地点（大和平野北部4地点、中部2地点、南部2地点）において年2回（夏季（7月）、冬季（1～2月））測定を行った。

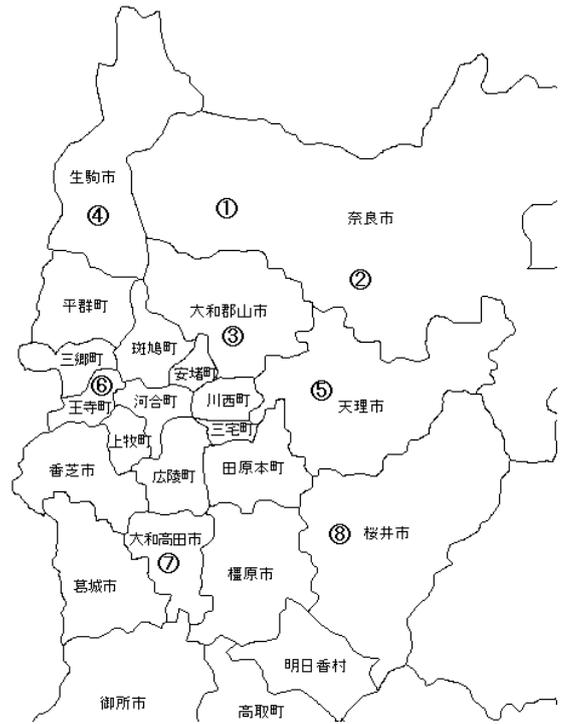


図 1 ダイオキシン類（大気）測定地点

表 1 ダイオキシン類（大気）測定地点

測定地点		測定対象	測定回数	
北 部	①奈良市	百楽園	大気	2回/年
	②奈良市	西木辻町	大気	2回/年
	③大和郡山市	馬司町	大気	2回/年
	④生駒市	山崎町	大気	2回/年
中 部	⑤天理市	丹波市町	大気	2回/年
	⑥北葛城郡王寺町	王寺	大気	2回/年
南 部	⑦大和高田市	大中	大気	2回/年
	⑧桜井市	粟殿	大気	2回/年

○ 測定結果（大気）

全地点の平均値は  $0.012\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ 、年平均値の濃度範囲は  $0.0077\sim 0.018\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$  であり、全ての地点で環境基準（ $0.6\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ ）を下回っていた。

表 2 ダイオキシン類（大気）測定結果（令和 6 年度）

（単位： $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ ）

調査地点		調査時期		
		夏 期	冬 期	年平均値
北 部	① 奈良市百楽園	0.011	0.0091	0.010
	② 奈良市西木辻町	0.0088	0.0066	0.0077
	③ 大和郡山市馬司町	0.012	0.015	0.014
	④ 生駒市山崎町	0.013	0.010	0.012
中 部	⑤ 天理市丹波市町	0.012	0.014	0.013
	⑥ 北葛城郡王寺町	0.0097	0.026	0.018
南 部	⑦ 大和高田市大中	0.011	0.0087	0.010
	⑧ 桜井市栗殿	0.0084	0.012	0.010

< 環境基準 >  $0.6\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$

※ 環境基準達成状況は、同一測定点における 1 年間の全ての検体の測定値の算術平均値で評価

表 3 ダイオキシン類（大気）調査結果の経年変化

（単位： $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ ）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
年平均値	0.023	0.020	0.012	0.013	0.012
測定地点数	県 : 6 地点 奈良市 : 2 地点				

(2) 公共用水域（水質・底質）

○測定地点・測定回数（水質・底質）

水質

3水系7地点（大和川水系2地点、淀川水系3地点、新宮川水系2地点）において年1回実施した。

また、大和川水系において、1地点（藤井）では年4回実施した。

1) 底質

3水系7地点（大和川水系2地点、淀川水系3地点、新宮川水系2地点）において年1回実施した。

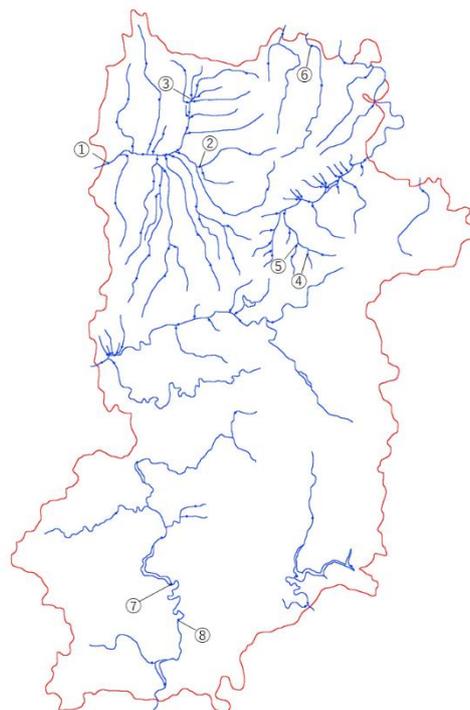


図2 ダイオキシン類（公共用水域（水質・底質））測定地点

表4 ダイオキシン類常時監視地点（公共用水域（水質・底質））

	測定地点			測定対象	測定回数
	水系名	河川名	地点名		
①	大和川	大和川	藤井	水質	4回/年
②	大和川	布留川	布留川流末	水質・底質	1回/年
③	大和川	佐保川	打合橋	水質・底質	1回/年
④	淀川	宇賀志川	宇賀志川流末	水質・底質	1回/年
⑤	淀川	四郷川	岩崎橋	水質・底質	1回/年
⑥	淀川	布目川	鷺千代橋	水質・底質	1回/年
⑦	新宮川	風屋ダム湖	取水口	水質・底質	1回/年
⑧	新宮川	熊野川	小原橋	水質・底質	1回/年

○測定結果

1) 水質

全地点の平均値は 0.25pg-TEQ/L、年平均値の濃度範囲は 0.030～0.97pg-TEQ/L であり、全ての地点で環境基準（1pg-TEQ/L）を下回っていた。

※ 環境基準達成状況は、同一測定点における1年間の全ての検体の測定値の算術平均値で評価

底質

全地点の平均値は 0.45pg-TEQ/g、年平均値の濃度範囲は 0.093～0.97pg-TEQ/g であり、全ての地点で環境基準（150pg-TEQ/g）を下回っていた。

表 5 ダイオキシン類（公共用水域）測定結果（令和6年度）

	測定地点			ダイオキシン類毒性等量	
	水系名	河川名	地点名	水質 (pg-TEQ/L)	底質 (pg-TEQ/g)
①	大和川	大和川	藤井	0.16 0.55 0.30 0.16	0.29
②	大和川	布留川	布留川流末	0.97	0.97
③	大和川	佐保川	打合橋	0.14	0.35
④	淀川	宇賀志川	宇賀志川流末	0.15	0.50
⑤	淀川	四郷川	岩崎橋	0.24	0.52
⑥	淀川	布目川	鷺千代橋	0.18	0.34
⑦	新宮川	風屋ダム湖	取水口	0.030	0.42
⑧	新宮川	熊野川	小原橋	0.030	0.093

<環境基準>水質：1pg-TEQ/L、底質：150pg-TEQ/g

※ 環境基準達成状況は、同一測定点における1年間の全ての検体の測定値の算術平均値で評価

(3) 地下水

○ 測定地点・測定回数

7 地点 (5 市町村) においてそれぞれ年 1 回実施した。

○ 測定結果

7 地点の平均値は 0.075pg-TEQ/L、濃度範囲は 0.032~0.13pg-TEQ/L であり、全ての地点で環境基準 (1pg-TEQ/L) を下回っていた。

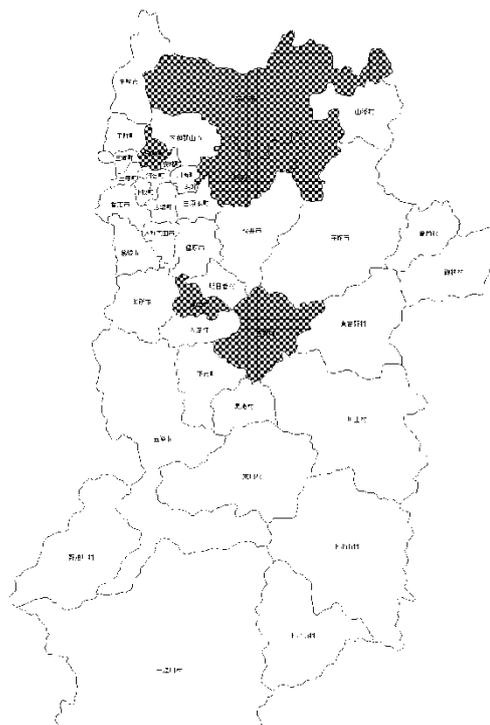


図 3 ダイオキシン類 (地下水) 測定地点

表 6 ダイオキシン類 (地下水) 測定結果 (令和 6 年度)

測定地点		測定回数	ダイオキシン類 毒性等量 (pg-TEQ/L)
奈良市	左京	1 回	0.053
奈良市	大安寺	1 回	0.11
天理市	森本町	1 回	0.13
天理市	福住町	1 回	0.035
斑鳩町	法隆寺	1 回	0.12
高取町	谷田	1 回	0.043
吉野町	左曽	1 回	0.032

< 環境基準 > 1pg-TEQ/L

※ 環境基準達成状況は、同一測定点における 1 年間の全ての検体の測定値の算術平均値で評価

#### (4) 土 壤

##### ○ 測定地点・測定回数

6 地点（一般環境 4 地点、発生源  
周辺 2 地点）においてそれぞれ年 1  
回測定した。

##### ○ 測定結果

6 地点の平均値は 0.97pg-TEQ/L、  
濃度範囲は 0.016～2.4pg-TEQ/L で  
あり、全ての地点で環境基準  
(1000pg-TEQ/L) を下回っていた。

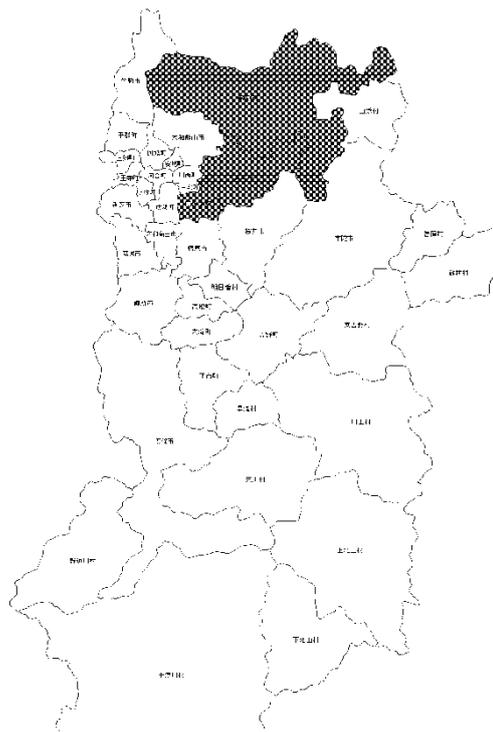


図 3 ダイオキシン類（土壌）測  
定地点

表 7 ダイオキシン類（土壌）調査結果（令和 6 年度）

測定地点		分類	測定回数	ダイオキシン類 毒性等量 (pg-TEQ/L)
奈良市	三碓	一般環境	1 回	0.76
天理市	田井庄町	一般環境	1 回	2.4
天理市	井戸堂町	発生源周辺	1 回	0.016
天理市	長柄町	一般環境	1 回	0.26
田原本町	平野	発生源周辺	1 回	0.84
田原本町	西井上	一般環境	1 回	1.6



奈良県エコキャラクター な～らちゃん